

中国四国教育学会

第77回大会プログラム

2025年12月6日(土)・12月7日(日)

高知工科大学



<目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
会場のご案内	3
自由研究発表(第一日)	7
公開シンポジウム	20
自由研究発表(第二日)	21
ラウンドテーブル	35

- ・最新の情報は学会ホームページ <http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/> をご確認ください。
- ・中国四国教育学会第77回大会は、高知工科大学の共催を得て開催いたします。

大会参加要領

0. はじめに

以下にご案内する大会の枠組・参加要領につきましては、状況に鑑み変更される場合がございます。本学会HPにて最新の情報を掲載しておりますので、大会開催前に逐次ご確認ください。

学会HP：<https://cssse.hiroshima-u.ac.jp/html/meeting.html>

1. 大会の開催形式と会場案内

自由研究発表、シンポジウム、ラウンドテーブル、総会、懇親会すべて対面での開催をいたします。会場図、アクセスについては次頁以降をご覧ください。

2. 大会への参加申し込み

大会参加オンライン申込期間（しくみネット）

11月11日（火）～11月30日（日）

学会HP に、参加申込URLを貼付いたしますので、事前申込に協力をお願いします。

（大会当日も事前申込+500円（現金のみ）で参加申込を受け付けます）

<大会参加費>

【大会参加費】 事前申込：正会員 2,000 円、学生会員 1,000 円
当日申込：正会員・当日会員 2,500 円、学生会員・当日学生会員1,500円

【懇親会費】 事前申込：正会員 4,500円、学生会員 3,000円
当日申込：正会員・当日会員 5,000円、学生会員・当日学生会員 3,500円

現職教員（臨探、非常勤含む）、日本学術振興会特別研究員（PD、DC1、DC2、RPD）の方は正会員です。

参加申込後のキャンセルや登録内容の変更については一切対応いたしかねます。

非会員および事前申込のない当日参加会員は、大会当日に支払い（現金のみ）を受付いたします。受付に名札入れ（領収書付き）を置いておりますので、事前参加登録・支払いされた方はそれを受け取り、ご自身で名札をご作成または名刺をお入れください。

※受付開始時間 8:30（一日目）、9:00（二日目）

3. 各部会の持ち方について

■自由研究発表要領

自由研究発表 個人研究：発表15分、質疑 5分

共同研究：発表30分、質疑10分

（ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。）

総括討議は、各部会で最後に20～40分程度行います。発表者は必ず参加してください。

自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、○印は口頭発表者です。

発表者は、レジュメを30～40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。

液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。また、ノートパソコン（Windows 搭載）をご持参ください。Mac用アダプターはご持参ください。

発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。

発表取り消しがあつた時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

■公開シンポジウム

公開シンポジウムのみ大会参加費をお支払いされずに、ご参加いただけます。

4. 昼食について

昼食について、大学周辺のいくつかのコンビニ・飲食施設は徒歩5～10分圏内にございます。生協食堂の営業はありません。

また、12月6日・7日にお弁当を購入希望の方は、しくみネットを通じてお弁当の事前予約が可能です（〆切11月30日（日））。お弁当の事前予約をいただいた方のみ、お茶付きで1,000円（税込）のお弁当を当日お受け取りいただけます。お弁当ブースにて現金でお支払をお願いいたします。

5. 連絡先

やむをえず発表を取り消される場合は、速やかに学会事務局までご連絡ください。その他ご不明な点は、大会実行委員会までお問い合わせ願います。

大会実行委員会および学会事務局連絡先	
中国四国教育学会 第77回大会実行委員会	
〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号 高知工科大学永国寺キャンパス	
大会についてのお問い合わせ：088-821-7131（中村研究室直通）	
委員長：中村直人 事務局長：福石賢一	
委員：岡谷英明	
学会事務局（発表取り消しの連絡はこちらへ）	
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院人間社会科学研究科教育学系コース内	
082-424-4610（事務局） cssse@hiroshima-u.ac.jp	
事務局長：曾余田浩史 事務局次長：杉田浩崇 事務局幹事：藤原由佳・周艶芳・明月	

大会日程

一日目（12月6日（土））		二日目（12月7日（日））	
8:30～	受付開始	9:00～	受付開始
9:30～ 12:20	自由研究発表 教育思想・学説I 道徳教育 教育史 教育と社会 教育方法 授業研究 教職員 教師教育 I 教育制度 幼児教育I 音楽教育 国語教育 I	9:30～ 12:20	自由研究発表 教育思想・学説II 特別活動 学級経営・生徒指導 ドイツにおける教育 カリキュラム 社会教育・生涯学習 教科書 比較教育 学校経営 教師教育 II 幼児教育II 乳幼児 国語教育 II
13:30～ 16:30	公開シンポジウム	13:30～ 15:30	ラウンドテーブル
16:40～ 17:40	総会		
18:00～	懇親会		

会場のご案内

◆高知工科大学 永国寺キャンパスまで

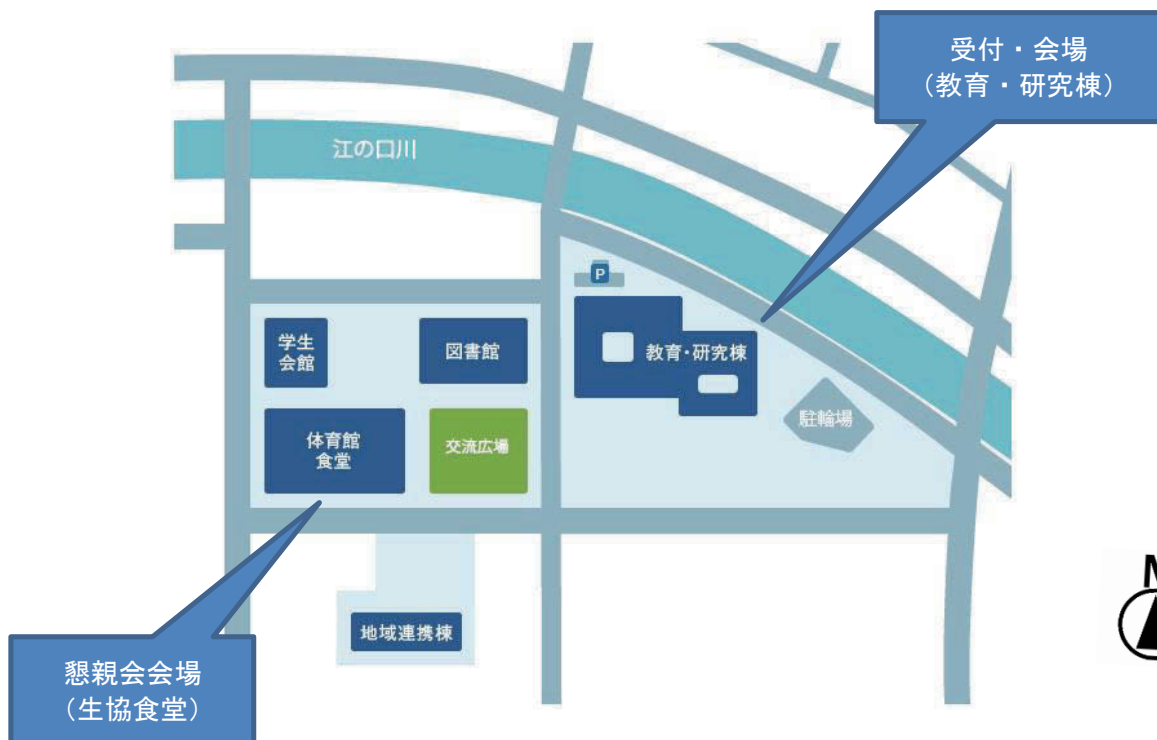
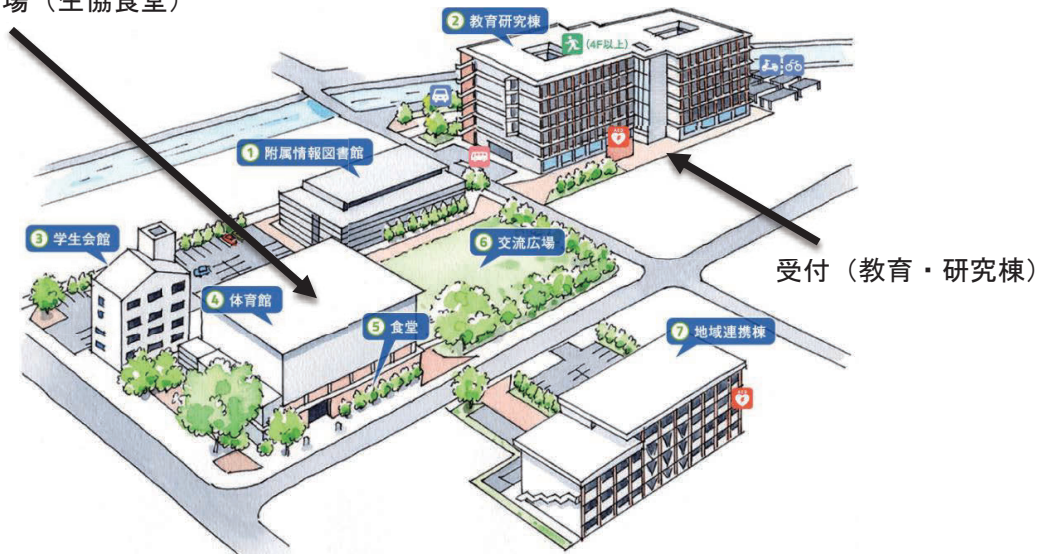
高知工科大学永国寺キャンパスまでの経路は高知工科大学HPをご覧ください

<https://www.kochi-tech.ac.jp/about/campus/eikokuji.html>

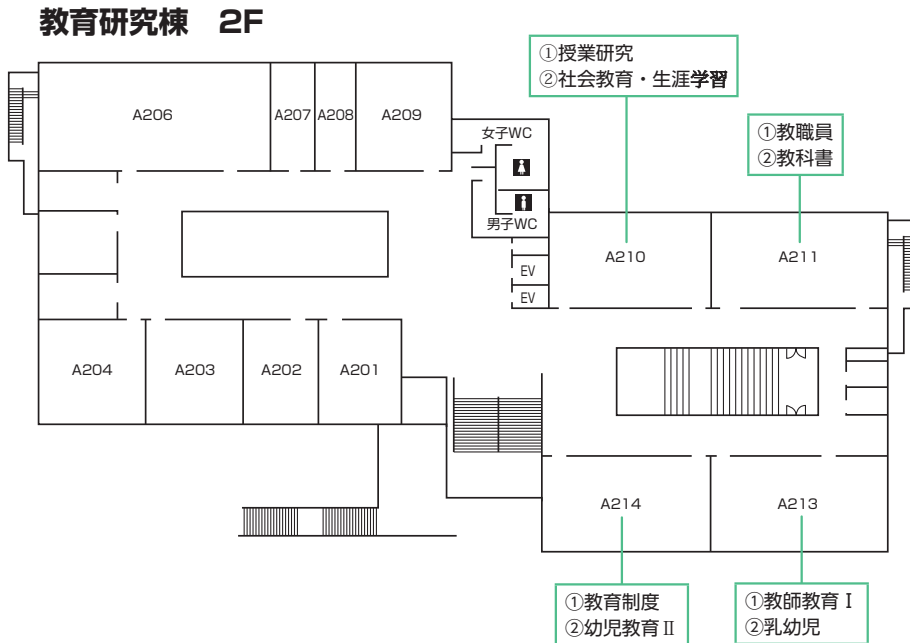
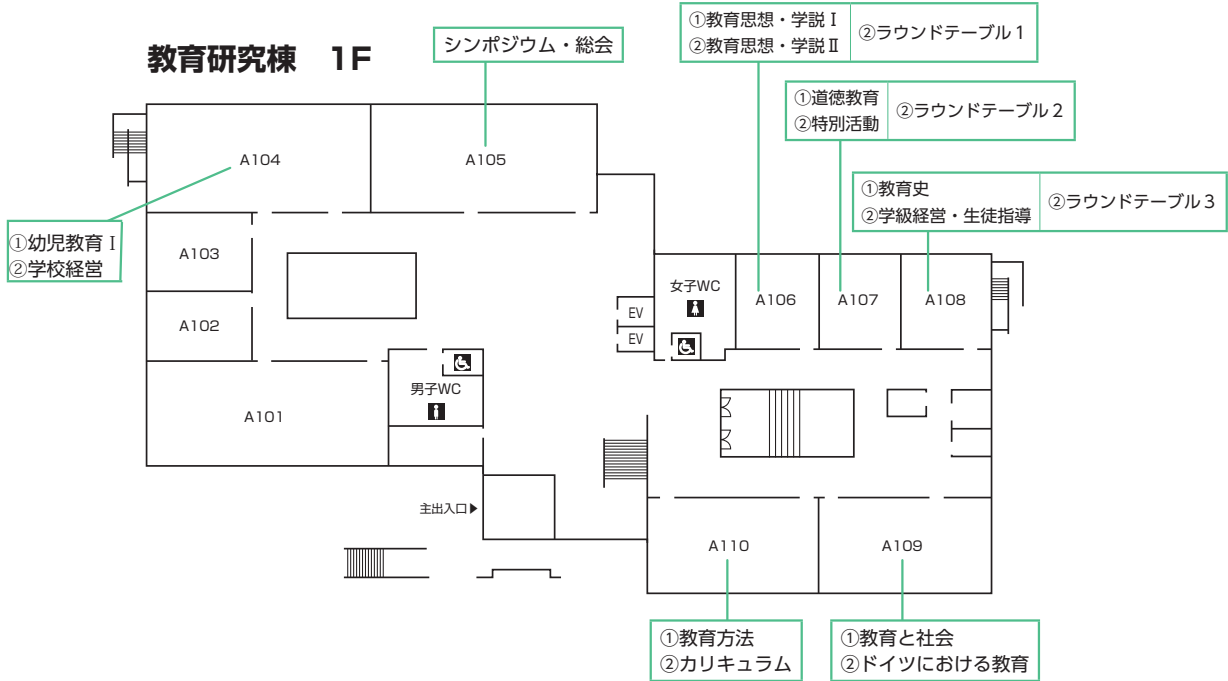
学会参加者用の駐車スペースはございません。公共交通機関等をご利用ください。

◆高知工科大学 永国寺キャンパス構内図

懇親会会場（生協食堂）

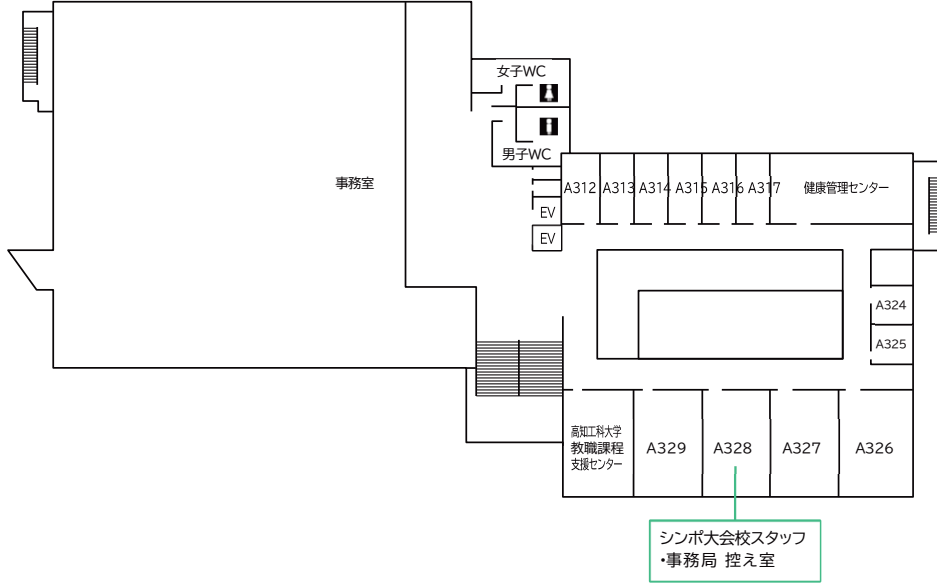


教育研究棟 1F・2F

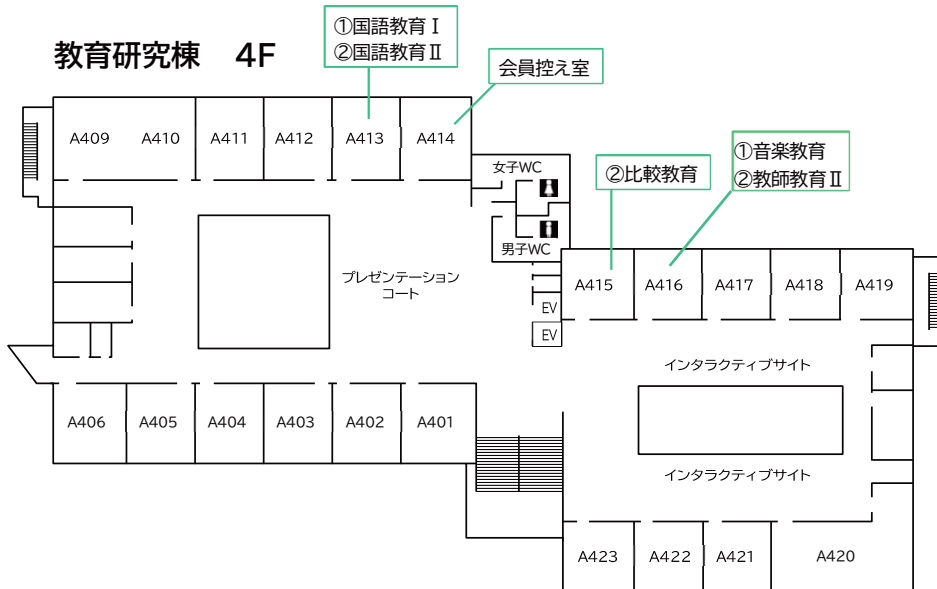


教育研究棟 3F・4F

教育研究棟 3F



教育研究棟 4F



『教育学研究紀要(CD-ROM版)』第71巻(2025年度刊行予定)

原稿募集

中国四国教育学会では、『教育学研究紀要(CD-ROM版)』第71巻を刊行するため、広く会員の方々から投稿原稿を募集いたします。つきましては、下記に従い、投稿原稿を提出いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 原稿提出締切(厳守)

2025年12月12日(金)23:59まで

2. 原稿提出方法

今年度の投稿はオンライン提出にて行う予定です。

投稿フォームは大会後、本学会のしくみネットに掲載いたします。

学会HP 学会HP「しくみネット マイページログイン」からアクセスしてください。

<https://cssse.shikuminet.jp/login/>

3. 投稿資格(編集規程・要綱をよくご確認ください。)

刊行当該年度の学会大会で発表した者

論文原稿は未刊行のもので、当該年度の学会大会で発表したものに限る。

投稿件数は、原則として1人1編とする。共同研究など連名で投稿する場合は2編まで許可する。ただし、代表執筆者として投稿できるのは、個人研究・共同研究を問わず、1人1編までとする。

ラウンドテーブルなどの成果に基づく論文に関しては、編集委員会の承認を経て別途掲載することができる。

4. 原稿提出に関する注意事項

(1) 原稿執筆にあたっては、必ず原稿執筆テンプレートをご使用ください。学会HPに掲載されている「中国四国教育学会倫理綱領」、および『教育学研究紀要(CD-ROM版)』編集規程および執筆要綱をご参照ください。

なお、掲載申込用紙、原稿執筆テンプレート(個人研究用)/ (共同研究用)、投稿者チェックリストは学会HPに掲載しておりますので、ダウンロードしてご使用ください。

(2) 原稿は、完成原稿をご提出下さい。原稿執筆者による校正はございません。

(3) 紀要掲載費は、個人研究及び共同研究いずれも5,000円です。掲載費納入締切は原稿提出日に準じます。

(4) 例年、書式の設定等、原稿執筆要綱を遵守されていない原稿が数多く見受けられます。原稿執筆要綱に著しく反する原稿については受理いたしかねます。ご注意願います。

※研究成果の公表は学術的根拠に基づき、虚偽や剽窃等のないようご配慮願います。

※『教育学研究紀要』第72巻の発行形態については2025年度総会にて審議する予定です。

以上

なお、ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

[お問い合わせ先]

広島大学大学院人間社会科学研究科 教育学講座内
中国四国教育学会事務局

『教育学研究紀要(CD-ROM版)』担当: 藤原 由佳

Tel : (082)424-6746 E-mail : csssej@hiroshima-u.ac.jp

大会 第一日

A-1 「教育思想・学説Ⅰ」部会

会場：A106 9:30～12:20

司会：丸橋 静香
(島根大学)

- ① 9:30 石井漠の舞踊教育論にみられる「対称性」の論理
—中沢新一の「芸術人類学」論に着目して— 沖中 春志郎
(エリザベト音楽大学大学院・
院生)
- ② 9:50 九鬼周造の偶然論における「切点S」の教育学的意義に関する一
考察 于 旻崢
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 認識的不正義論からの教育の正義論の捉え直し
—分配的正義論からの転換— 板野 誠
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 ヴェーニガーの社会的教育学に関する一考察
—ノール門下生との比較を手掛かりにして— 田中 崇教
(広島文教大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 J. S. ブルーナーの文化心理学論形成における書評の役割
—1980年代のThe New York Review of Booksに掲載された諸
論文を手がかりに— 相馬 宗胤
(高松短期大学)
- ⑥ 11:20 パーシー・ナンの新実在論に関する一考察 杉田 浩崇
(広島大学)

11:40 【全体会】

A-2 「道德教育」部会

会場：A107 9:30~12:20

司会：平田 仁胤
(岡山大学)

- ① 9:30 道德教育における「弱さ」の捉え直し
—バトラーの「傷つきやすさ」とレヴィナス哲学の関連性を探
ることを通して—
小笠原 愛美
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 在外教育施設における道德教育の現状と課題
○高須 明根
(香川大学)
石井 佳奈子
(立正大学)
川本 吉太郎
(広島大学)
田口 直也
(AIC国際学院京都府校)
- ③ 10:10 道德教材研究における視覚化手法の開発
—「手品師」の実践分析から—
○四宮 凜果
(愛媛大学)
白松 賢
(愛媛大学)
班 婷
(愛媛大学)
上地 完治
(琉球大学)
- ④ 10:30 多文化主義思想において「多様性」と「公正性」はどのように
考えられているか
岡村 美由規
(広島大学)

【休憩 10分】

11:00 【全体会】

A-3 「教育史」部会

会場：A108 9:30~12:20

司会：西川 ひろ子
(安田女子大学)

- ① 9:30 原田三夫と科学雑誌
田中 卓也
(育英大学)
- ② 9:50 現代アートになった『刺繍キモノ』と『銘仙』からアプローチする被服文化学習
柴 静子
(広島大学名誉教授)
- ③ 10:10 別府女子専門学校の設置過程にみる教員の異動
今井 航
(福山大学)
- ④ 10:30 新潟県立長岡高等女学校における卒業生の進路
— 『同窓会々報』を中心に—
烏田 直哉
(東海学園大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 大正新教育期における自治活動の展開
—岡山県倉敷小学校の「学級自治会」を事例として—
鈴木 和正
(常葉大学)
- ⑥ 11:20 大正後期の高等師範学校昇格問題における教育学の位置
○白石 崇人
(広島大学)
○久恒 拓也
(新見公立大学)

12:00 【全体会】

A-4 「教育と社会」部会

会場：A109 9:30~12:20

司会：高 静
(曲阜師範大学)

- ① 9:30 中国における大学生の就職選択と地域観
梁 斯婕
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 中国大学院生の専攻転向に関する考察
—教育学への転向に着目して—
王 瑞瑤
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 日本におけるメディアに表れた教師像に関する研究
范 怡愷
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 戦前期における工業教員養成所出身教員の教師像
陳 冠男
(広島大学大学院・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 数値化される能力
—WEB小説に見る学校的な価値観—
羅 大為
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 専門学校教員の成長の語り
山本 優
(宮崎産業経営大学)
- ⑦ 11:40 初等教育専攻大学院生における U-G-S 連携育成の現状
と課題
○楊 丹
(東広島市教育文化振興事業団)
周 正
(江蘇大学)

12:00 【全体会】

A-5 「教育方法」部会

会場：A110 9:30~12:20

司会：熊井 将太
(安田女子大学)

- ① 9:30 パウロ・フレイレの意識化の教育実践に関する一考察 小島 隆世
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 アーレント政治哲学の教授学的展開と構想に関する研究 深谷 周平
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 ジャンル・アプローチに基づく第二言語教育の教育内容論に関する一考察 栗村 正仁
—初等教育を中心として— (美作大学)
- ④ 10:30 マーフィ James Murphy のヨーロッパ中世修辞学史・作文教育史研究に関する一考察 中野 和光
(美作大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 生きることと学ぶことの統一を基調とする学習集団づくりの実践構想 〇福田 敦志
—佐藤正夫・吉本均『生活指導の実践過程—戦後道德教育の成果と理論化』(1960年)を手がかりに— (広島大学)
吉田 成章 (広島大学)
〇安藤 和久 (琉球大学)
藤原 由佳 (広島大学)
阿蘇 真早子 (広島大学大学院・院生)
〇金原 遼 (広島都市学園大学)
〇澤田 百花 (広島大学大学院・院生)
明月 (広島大学大学院・院生)
〇市川 博文 (広島大学大学院・院生)
〇大城 朝周 (広島大学大学院・院生)
〇深谷 周平 (広島大学大学院・院生)
〇黄 楷文 (広島大学大学院・院生)
〇小島 隆世 (広島大学大学院・院生)

11:40 【全体会】

A-6 「授業研究」部会

会場：A210 9:30~12:20

司会：八木 秀文
(大阪体育大学)

- ① 9:30 インクルーシブな学校づくりをめざした授業研究の課題
吉田 茂孝
(大阪教育大学)
- ② 9:50 兵庫教育大学における授業研究アーカイブの活用に関する研究
—教育実習のリフレクション科目を中心に—
○別惣 淳二
(兵庫教育大学)
松田 充
(兵庫教育大学)
- ③ 10:10 日本の授業研究における講師の役割と課題に関する一考察
—X校における協働的指導助言を事例として—
○明月
(広島大学大学院・院生)
南浦 涼介
(広島大学)
○吉田 成章
(広島大学)
○周 艶芳
(広島大学)
○藤原 由佳
(広島大学)
○宮島 衣瑛
(広島大学)
○山田 陸登
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 授業実践におけるケアの諸相
—個別的接近の原理と方法に焦点を当てて—
○深澤 広明
(安田女子大学)
○櫻井 瀬里奈
(安田女子大学大学院・院生)
○阿蘇 真早子
(広島大学大学院・院生)

11:40 【全体会】

A-7 「教職員」部会

会場：A211 9:30~12:20

**司会：曾余田 浩史
(広島大学)**

- ① 9:30 特別支援学校の音楽科教師が感じる困難に関する研究
—インタビュー調査および質的分析による考察— 麻生 温可
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ② 9:50 「学校における働き方改革」に関する研究の社会学的検討 露口 幸将
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 学校の多職種協働における「チームング」の理論的考察 中野 真人
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 中国都市部の教員はいかに「多忙」を語るか
—教育と社会— 関 奕セン
(広島大学大学院・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 教職員の人材育成に関する一考察
—一人が育つ組織文化について—
- 杉原 満治
(広島大学)
- 米谷 剛
(広島大学)
- 藤田 典生
(広島大学)
- 藤川 照彦
(広島大学)
- 戸高 真也
(広島大学)

11:40 【全体会】

A-8 「教師教育 I」部会

会場：A213 9:30~12:20

司会：尾場 友和
(大阪商業大学)

- ① 9:30 実習生の成長と指導教員によるフィードバック環境との関連 小田 夏未
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 教育的瞬間の社会的構成に関する一考察 中野 雅斗
—ある教師のライフヒストリーを手がかりに— (愛媛大学大学院・院生)
- ③ 10:10 教師教育におけるD. Kolbの経験学習論の再検討 西田 和希
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 学生の声を手がかりに探る「個別最適な学び」の教育的価値 中島 義和
—学生が未経験の学びを題材とする教科教育法の授業での試み— (常葉大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 「初等音楽科教育法」における弾き歌いを伴う模擬授業に関する 河邊 昭子
—考察 (兵庫教育大学)
—振り返りの内容に着目して—
- ⑥ 11:20 教職課程における基礎学力保障に向けたオンライン教材の可能性 〇山中 翔
と課題 (広島文化学園大学)
—学力診断テストの誤答傾向に着目して— 山内 優佳
(広島大学)

11:40 【全体会】

A-9 「教育制度」部会

会場：A214 9:30~12:20

司会：黒木 貴人
(福山平成大学)

- ① 9:30 日本語指導が必要な児童生徒に対する教育条件整備に関する研究 張 笑恬
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 中国におけるデータ関連人材育成プログラムに関する一考察 毛 月
(広島大学)
- ③ 10:10 私学高等教育の質向上施策の進展
—客観的指標調査の設問変化に着目して— 竹内 正和
(大手前大学)
- ④ 10:30 米国における非通学型学校の増加とチャータースクールに対する規制強化に関する研究
—設置認可関係文書の分析 [2] — 佐々木 司
(山口大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 中国における家庭・学校・社会の協同人材育成「教育連合体」に関する一考察
○趙 碩
(江蘇大学教師教育学院)
○毛 月
(広島大学)

11:40 【全体会】

A-10 「幼児教育Ⅰ」部会

会場：A104 9:30~12:20

司会：富田 雅子
(広島文化学園短期大学)

- ① 9:30 堀合文子の実践における「リズム」と保育の関係性に関する研究
—「リズム研修会」を通して— 李 睿苗
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 幼小移行期のカリキュラムに関する研究の動向と課題 野原 美幸
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 児童養護施設における子どもにとってのルール 沖島 歌音
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 幼保小連携における「学び/学習」概念の検討 深澤 悦子
(広島都市学園大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 大場牧夫における領域「社会」の指導の領域「人間関係」への継承と変更
—『幼児と社会』及び『子どもと人間関係』の分析を通して— 武内 裕明
(弘前大学)
- ⑥ 11:20 幼児の好奇心を育てる自然体験活動実施における保育者の困難性に関する研究
—幼児クラス担当保育者を対象とした意識調査を通して— 楠 岳慈
(佛光大学)

11:40 【全体会】

A-11 「音楽教育」部会

会場：A416 9:30~12:20

司会：藤尾 かの子
(兵庫教育大学)

- ① 9:30 「音楽を認知すること」の理論的再定位
—鑑賞の多様性に向けて—
北村 慎祐
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 ピアノ教育におけるモバイルアプリの可能性
—個人ピアノ教室における実践及び考察を通して—
河野 明音
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ③ 10:10 音楽活動における行為に関する研究
辻 勇介
(広島文化学園短期大学)
- ④ 10:30 イタリアのインクルーシブな音楽教育が生徒の共感性
に与える影響
大野内 愛
(広島大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 学習指導要領(音楽編)領域「基礎」に関する研究
—文部省の趣旨と「基礎」への批判との関連を中心に—
四童子 裕
(中村学園大学短期大学部)
- ⑥ 11:20 日本のペンタトニックが果たす役割
—小郡幼稚園の実践に着目して—
三村 真弓
(エリザベト音楽大学)

11:40 【全体会】

A-12 「国語教育Ⅰ」部会

会場：A413 9:30~12:20

司会：山元 隆春
(広島大学)

- ① 9:30 児童文学からみる「いい子」像の変遷と教育課題
南 咲貴子
(関西学院大学大学院・院生)
- ② 9:50 「聞くこと」の教育における目標論の検討
藤川 和也
(大阪教育大学)
- ③ 10:10 文学的コンピテンシーの探究
—ドイツの文学教授学における“文学的社交性”を
中心に—
土山 和久
(大阪教育大学)
- ④ 10:30 (発表取り消し・繰り上げなし)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 批判的思考力育成の観点から見た説明的文章教材の系
統性
○間瀬 茂夫
(広島大学)
○伊藤 まりか
(広島大学大学院・院生)

11:40 【全体会】

公開シンポジウム

会場：A105
13：30～16：30

少子化 x 学校 x DX

【趣旨】

日本は今世紀これまでに直面したことのない未曾有の事態に直面している。それは、著しい人口減少と止まらない少子化現象の結果、人類が経験したことのないシュリンクする社会構造変動が極端な形で進行しつつある事態、というものである。

中国・四国地方の多くの市町村でも、例外なくこれらの現象が進行している。今年度学会開催校の高知県では昨年度の出生数は日本で最下位の3000人余り、当日話題提供をしていただく香美市は、県立の高知工科大学本部と工学系学群を設置したが、人口減少と少子化には歯止めがかかっていない。また、同様に話題提供をしていただく、徳島県神山町は二万人以上いた人口は、現在五千人台であり、同じく危機的な状況に直面している。

話題提供をしていただく二つの市と町は、それぞれ大胆なヴィジョンを基に独自の地域活性化に取り組んでいる。徳島県神山町は、プライベートセクターの高専を設置して、企業とタイアップした独自の学校運営及び教育運用を行い、これまでの日本では組みのないイノベーションを起こし、順調に学生生徒を確保し、オリジナルで革新的な教育によって多くの支持を得ている。また、香美市は独自のDX化でスマートシティ構想を実現しつつあり、一部の地区の小中学校を日本の公立学校では唯一のIB校認定を受け、探求型教育の推進によって学力の高度化も実現してきた。これらの構想と政策実施は、同様に多くの支持を得ており、来年10月末には日本教育工学協会の全国大会を行う予定である。

このシンポジウムでは、二つの事例紹介を基に、新しい社会構造に沿ったDX化と学校の革新によって地域の直面している課題を打ち破ろうとしている実践から学ぶことによって、他地域での先進事例からも学び、また共通の理論構造を導き出すことによって、閉塞した教育構造を転換する道を探りたいと考えている。

【司会者】

岡谷 英明（高知大学）
中村 直人（高知工科大学）

【話題提供者】

松坂 孝紀（徳島県神山まるごと高等専門学校）
上村 安和（高知県香美市教育委員会）

【指定討論者】

濱田久美子（高知学園大学）
岡崎 伸二（高知市教育委員会）

大会 第二日

B-1 「教育思想・学説Ⅱ」部会

会場：A106 9:30～12:20

司会：山田 直之
(関西大学)

- ① 9:30 正統的周辺参加論における「状況的学習」に関する批判的考察
大藤 渉
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 デューイ倫理学における直観概念の役割
青山 伸洋
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 運動技術の記述可能性に関する一考察
山本 一輝
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 教えることに関する感性論的な考察
—「身体感性論 somaesthetics」に着目して—
原田 真紘
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 イヴァン・イリイチの読書論に関する考察
—「コモンズ」の人格形成論的意義の探求に向けて—
小川 直樹
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 近代教育思想における「家庭」の位相
—ケア論における home 概念を手掛かりに—
坂本 達也
(茨城大学)
- 11:40 【全体会】

B-2 「特別活動」部会

会場：A107 9:30~12:20

司会：梅田 崇広
(愛媛大学)

- ① 9:30 学習集団づくりにおける特別活動の展開に関する一考察 黄 楷文
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 宮坂哲文の特別教育活動論に関する一考察
—教科指導との関連に着目して— 澤田 百花
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 特別活動における「委員会活動」の所属決定過程の特徴
および傾向とその課題についての一考察 持田 洸
(富山大学)
- ④ 10:30 特別活動の実践と省察を通じた教師間対話の分析
○内田 圭佑
(倉敷芸術科学大学)
○佐々木 龍平
(別府大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:20 初等中等教育における教科観のスクーピングレビュー
—生活科教育の研究的可能性を探る—
○内海 美帆
(広島大学大学院・院生)
○渡邊 巧
(広島大学)

12:00 【全体会】

B-3 「学級経営・生徒指導」部会

会場：A108 9:30～12:20

司会：山岸 知幸
(香川大学)

- ① 9:30 専門的な教科学習から人間性の育成へつなげる指導モデルの開発
—音楽科および学級活動における「個性と調和」の実践を通して— 齋藤 紘希
(広島市立中学校)
- ② 9:50 発達支持的生徒指導による主体的・対話的な学級経営 鎌田 明美
(徳島県公立中学校)
- ③ 10:10 リズムダンスの授業が学級集団にもたらす効果についての一考察 大西 美輪
(香川大学)
- ④ 10:30 児童同士による相互評価・相互批評に関する研究 明比 宏樹
(立命館大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 「生徒指導」の理論と実践に関する研究動向の分析
—日本生徒指導学会機関誌を対象として— 石田 美清
(元大学教員)
- ⑥ 11:20 学級活動の民主的手法のリスクと低減
—「合意形成ゲーム」の試行的実践— ○白松 賢
(愛媛大学)
山崎 里紗
(愛媛大学大学院・院生)
- 11:40 【全体会】

B-4 「ドイツにおける教育」部会

会場：A109 9:30~12:20

司会：尾島 卓
(岡山大学)

- ① 9:30 ドイツにおけるインクルーシブな授業構成の論点と課題に関する一考察 市川 博文
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 ドイツにおける政治教育の展開と転換に関する一考察 大城 朝周
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 ドイツにおける平和教育学(Friedenspädagogik)の展開 安藤 和久
(琉球大学)
- ④ 10:30 教育の心理学化に関する学説史研究 熊井 将太
—ドイツにおける実験教育学の展開をめぐって— (安田女子大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 ドイツの基礎学校における観点別評価と学習開発面談に関する一考察 卜部 匡司
(広島市立大学)
- 11:20 【全体会】

B-5 「カリキュラム」部会

会場：A110 9:30~12:20

司会：早川 知宏
(島根大学)

- ① 9:30 思考様式をめぐるカリキュラム論の動向・課題(2)
—思考の「内容/形式」図式に基づく実践・研究の検討—
池田 隆英
(岡山県立大学)
- ② 9:50 「自ら学ぶ力」を育む探究的な学びを展開するカリキュ
ラム・マネジメントに関する研究
齊藤 雅子
(広島大学教職大学院・院生)
- ③ 10:10 「『思い』によるマネジメント(MBB)」を基盤とした
カリキュラム・マネジメントに関する考察
杉原 慶一
(広島大学教職大学院・院生)
- ④ 10:30 音楽科における「体を動かす活動」の位置づけ
—学習指導要領の記述を中心に—
藤井 菜摘
(佐賀女子短期大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 幼小の接続を視野に入れた幼児期のカリキュラムに関
する一考察
—ケイパビリティの概念を手がかりとして—
○中川 智之
(川崎医療福祉大学)
橋本 勇人
(くらしき作陽大学)
- 11:40 【全体会】

B-6 「社会教育・生涯学習」部会

会場：A210 9:30~12:20

司会：松田 弥花
(広島大学)

- ① 9:30 障害のある成人の居場所の形成と社会参加に関する研究
—地域活動支援センターにおける余暇活動に着目して—
楊 以楽
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 デンマークの“Dannelse”に関する考察
—グルントヴィの子ども観に着目して—
大山 美桜
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 子どもの権利保障システム構築の理論的基盤に関する
研究
—マーサ・ミノウの关系的権利論における「関係」の構
造把握に向けて—
平山 大晟
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 大学と公共図書館の連携における可能性と課題
松岡 礼子
(至学館大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 国際交流ボランティア講習会における高齢者の参加に
関する一考察
—H市の事例を通して—
○楊 丹
(公益財団法人 東広島市教育文
化振興事業団)
李 憶南
(山梨学院大学)

11:20 【全体会】

B-7 「教科書」部会

会場：A211 9:30~12:20

司会：福田 敦志
(広島大学)

- ① 9:30 包括的性教育をめざす社会科教育カリキュラムのための
単元開発・改善研究
—「Make America Great Again」を批判的に捉える中学
地理「北アメリカ州」単元の場合—
野呂 航平
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 日本と韓国における小学校英語教育に関する研究
—教科書の比較による特徴分析—
増岡 由真
(安田女子大学大学院・院生)
- ③ 10:10 オーストラリアの地理教育におけるナショナル・アイ
デンティティの形成
—ニューサウスウェールズ州「地理」シラバスを手が
かりに—
両角 遼平
(福山大学)
- ④ 10:30 イランと日本の高校英語教科書における学習過程の比
較分析
浅井 智雄

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 未来の教科書に関するデルファイ調査
二宮 皓
(広島大学名誉教授)
- ⑥ 11:20 在外教育施設で教師はどのように地域学習を実践して
いるか？
—カンボジア・プノンペン日本人学校の小学校3年生
単元「農家の仕事」を事例に—
○守谷 富士彦
(四天王寺大学)
○両角 遼平
(福山大学)

12:00 【全体会】

B-8 「比較教育」部会

会場：A415 9:30~12:20

司会：班 婷
(愛媛大学)

- ① 9:30 大学入試制度における教育機会の不均等に関する研究
—中国天津市と河北省を対象として— 孫 淳
(鳴門教育大学大学院・院生)
- ② 9:50 中国における教員と保護者の関係の文化的変容 朱 新雅
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 カナダにおける教育課程改革の動向 下村 智子
(三重大学)
- ④ 10:30 台湾の高級中学における第二外国語教育の展開 小川 佳万
(広島大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 韓国の代案学校における教育課程の特質
—創意的体験活動を中心として— ○朴 聖希
(広島大学)
小川 佳万
(広島大学)
- 11:20 【全体会】

B-9 「教師教育Ⅱ」部会

会場：A416 9:30~12:20

司会：別惣 淳二
(兵庫教育大学)

- ① 9:30 小学校社会科地域学習の実践的課題に応える教員研修の条件
—A市での質問紙調査の結果から—
- 迫 有香
(福山平成大学)
- ② 9:50 保健体育科教員養成課程卒業者が有する体育授業の学習観に関する一考察
—学習者としての学習観と体育教師としての学習観の差異に着目して—
- 大村 悠真
(広島大学大学院・院生)
辻 翔吾
(広島大学大学院・院生)
福田 健太郎
(広島大学附属福山中・高等学校)
齊藤 一彦
(広島大学)
- ③ 10:10 駆け出し期の教職科目担当教員の実践的指導力を向上させるプラクティカムの提案
—「教職の意義及び教員の役割・職務内容」に関する科目を事例として—
- 大坂 遊
(周南公立大学)
川本 吉太郎
(広島大学)
迫 有香
(福山平成大学)
- ④ 10:30 中等理科教員に求められる資質能力に関する一考察
—フランスのCAPESの事例をもとに—
- 三好 美織
(広島大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 授業者(T2)視点からみる広域交流型オンライン学習の評価(2)
—2024年度東広島市教員インタビュー調査をもとに—
- 神田 颯
(広島大学)
○三井 成宗
(広島大学)
宇ノ木 啓太
(広島大学大学院・院生)
川本 吉太郎
(広島大学)
草原 和博
(広島大学)
- 11:40 【全体会】

B-10 「学校経営」部会

会場：A104 9:30~12:20

司会：山本 遼
(大分大学)

- ① 9:30 持続的な学校の成長につながる協働化に関する研究 片岡 三佳
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 エンジニアに求められるリーダーシップとその育成 藤埴 智一
(宮崎大学)
- ③ 10:10 自治体による高等学校教育環境支援と進路選択の関連 藤井 宣彰
(県立広島大学)
- ④ 10:30 教育活動の「まとまりとは」を追求する亀田正秋の学校経営の思想と実践(2) 〇曾余田 順子
曾余田 浩史
(広島大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 「傾き」で観る学校づくり 〇曾余田 浩史
(広島大学)
〇曾余田 順子

11:40 【全体会】

B-11 「幼児教育Ⅱ」部会

会場：A214 9:30~12:20

司会：深澤 悦子
(広島都市学園大学)

- ① 9:30 教授学的遊びの再評価を手がかりとした遊びと学びの
関係に関する研究 金原 遼
(広島都市学園大学)
- ② 9:50 日本における多文化保育研究の動向 富田 雅子
(広島文化学園短期大学)
- ③ 10:10 外国にルーツのある子どもの保育 吉田 貴子
(大阪国際大学短期大学部)
- ④ 10:30 幼児の出会い
—現象学的解読の試み— 中野 桂子
(筑紫女学園大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 音環境の聴取と音の可視化活動の教育的効果
—保育者養成課程におけるサウンドウォークの実践を
通して— ○藤尾 かの子
(兵庫教育大学)
○戸江 真以
(九州女子短期大学)
- 11:40 【全体会】

B-12 「乳幼児」部会

会場：A213 9:30~12:20

司会：武内 裕明
(弘前大学)

- ① 9:30 乳児の生活場面における保育者の援助行動に関する文献的検討 王 陽
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 日本の保育者は子どもにどのようなアニミズムを用いた言葉かけをするのか? 秦 聖怡
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 一組の母子における前言語的コミュニケーションの変容—コミュにカティヴ・ミュージカリティ概念に基づくPraatによる音声分析— 森澤 麗
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ④ 10:30 非認知能力が育つ自然保育における保育者の意図—乳児期及び幼児期に焦点をあてて— 木村 友紀
(中国学園大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 〇市公立保育園における体力・運動能力向上をめざした運動プログラムの取り組み—コロナ禍を経験した子どもの経過に注目して— 内田 智子
(至学館大学)

11:20 【全体会】

B-13 「国語教育Ⅱ」部会

会場：A413 9:30~12:20

司会：土山 和久
(大阪教育大学)

- ① 9:30 英語初期学習者の読む活動における音韻認識指導のあり方
—日本の小中学生に対する実態調査を通じて—
伊藤 美月
(安田女子大学大学院・院生)
- ② 9:50 「話すこと・聞くこと」に関わる国語科学習指導の開発
—レジリエンスに着目して—
西村 尚久
(広島大学附属三原中学校)
- ③ 10:10 マルチモーダルアプローチが拓く国語科学習指導
—前期中等教育段階における「ズームアウト読み」の可能性—
松尾 澄英
(大阪教育大学附属平野中学校)
- ④ 10:30 生きる意味の創出における国語科教育の役割に関する
—考察—
森川 蓉子
(関西学院大学大学院・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 対話のレッスンとしてのディスカッションドラマ
—相対主義、普遍主義を越えて—
○脇 忠幸
(関西学院大学)
○小路口 真理美
(大阪教育大学)
○今井 博登
(大阪教育大学附属平野中学校)

11:40 【全体会】

ラウンドテーブル1

会場：A106
13：30～15：30

外国人保護者と学校の協働をどう実現するか
—日本語教育と学校教育との接点を考える—

【企画者】

成 利楽（立命館アジア太平洋大学）

【提案者】

山下 順子（成蹊大学）

学校教育の主要ジャーナルに見られる外国人児童生徒研究の動向

成 利楽（立命館アジア太平洋大学）

学校教育現場における外国人保護者との関わりの現状と課題

道法 愛（広島大学）

家庭・学校の協働を促すための新たな可能性

【企画趣旨】

日本の学校現場では、外国人児童生徒の受け入れが増加しており、教育実践において保護者との連携がこれまで以上に重要な課題となっている。とりわけ、外国人保護者は言語・文化・教育制度の違いから、学校との意思疎通や教育参加に困難を抱えやすい。しかし、家庭は子どもの学びを支える基盤であり、保護者と学校が協働することで、児童生徒成長が子どもの成長は一層促進される可能性をもつ。

本ラウンドテーブルでは、「外国人保護者と学校の協働」をテーマに、①学校教育の主要ジャーナルに見られる外国人児童生徒研究の動向、②学校教育現場と外国人保護者との関わりの現状と課題、③家庭・学校の協働を促すための新たな可能性、について多角的に議論する。特に、外国人保護者研究や外国人児童生徒教育に関心をもつ者が、それぞれの知見を持ち寄り、日本語教育と学校教育との接点をどのように築いていけるのかを探りたい。

ラウンドテーブル2

会場：A107
13：30～15：30

長田新の中国講演とその研究

【企画者】

劉 幸（北京師範大学）

【提案者】

山田直之（関西大学）

長田新『国家教育学』（1944）への道：中国講演「教育立国論」、「道徳と文化」、「東洋文化および西洋文化の融合統一」の翻訳校閲を通じた一考察

劉 幸（北京師範大学）

長田新の中国訪問：1942年と1955年・連続性と非連続性

班 婷（愛媛大学）

「新教育学」からみる長田新の教育思想——講演記録の翻訳を通して

【企画趣旨】

広島文理科大学第五代学長、日本教育学会初代会長の長田新（1887-1961）は1942年7月に、日本植民地下の北京を訪問し、北京師範大学で、中国における高等学校の教員に対して、五回の講義を行った。講演については実施された記録が残るのみで、その内容を窺い知る資料は現存しないと考えられてきたが、研究代表者の劉幸によって、近年、その講演の記録（中国語全訳）が北京師範大学の文書館で発見された。

発見された講演録は、「教育立国論」、「道徳と文化」、「東洋文化および西洋文化の融合統一」、「新教育学（上）」、「新教育学（下）」を除く3講演の翻訳を紹介し、長田の教育思想の新たな側面を開く可能性を追求した。昨年のラウンドテーブルに引き続き、本年は、新たに「新教育学（上）」、「新教育学（下）」の日本語訳および考察を通して、戦時中の日本教育思想の再構築を試みていきたい。また、1955年の長田の中国訪問との比較に基づいて、戦前と戦後の日本教育学の関連性を再考したい。

なお、本企画は2024年度－2025年度中国四国教育学会「課題研究」の助成を受けている。記して支援に感謝申し上げます。

ラウンドテーブル3

会場：A108
13：30～15：30

地域と学校の協働を軸とした
教育機会保障に関する学際的研究（2）

【企画者】

俵 龍太郎（広島大学大学院・院生）

【司会者】

辻野 けんま（大阪公立大学）

【提案者】

明 月（広島大学大学院・院生）

地域と学校の協働をめぐる学際的アプローチの試み

俵 龍太郎（広島大学大学院・院生）・澤田 百花

普通教育機会保障への教育行政学的・教育方法学的アプローチ

—学びの多様化学校へのフィールド調査を中心に—

【指定討論者】

杉原 満治（広島大学）

【企画趣旨】

子どもを取り巻く教育環境が複雑化・多様化する中で、公教育の対象や境界を問う研究が数多く見られる。なかでも不登校児童生徒の支援については、多様なニーズへの応答として、学校（一条校）内外を問わず蓄積されており、公教育の揺らぎや変革を迫る動向として理解できよう。地域や学校が複雑な社会課題の解決に向きあうとき、地域と学校の協働はいかにして成立しうるのか。多様な関係に開かれた教育の取組に迫ることで、複雑な社会課題に対して教育学研究の知見からどのような応答が可能であろうか。

本企画では、昨年度に引き続き、地域と学校の協働を軸とした多様なニーズに応える普通教育機会保障について、学びの多様化学校、教育支援センター等の事例を参照しつつ、教育学の領域を横断した調査・分析により議論を深めることを目的とする。なお、本企画は2024-25年度中四国教育学会課題研究の助成を受けている。